

教育委員会の点検・評価報告書

(令和2年度対象)

令和3年12月

芝山町教育委員会

はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(平成20年4月1日施行)第26条第1項並びに第2項に基づき作成したものです。

また、点検・評価の具体的な項目や指標、議会への報告や公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(平成20年4月1日施行)

第26条第1項

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

第26条第2項

教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

「評価」欄の記載内容

評価の区分	評価の内容
◎ (達成)	優れた取り組みや状況等が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね達成)	課題はあるが、良い取り組みや状況等が見られ、概ね目標が達成された。
△ (課題がある)	課題が少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果はあったが新たな課題が生じた。
× (達成が困難)	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

令和3年度 芝山町教育委員会の点検・評価について

芝山町教育委員会（以下、教育委員会）は、本町の将来を担う子供たちに豊かな人間性を培うと共に、人生100年時代における生きがいの実感と時代の変化への対応、さらには自分にふさわしい生き方を探るなど、町民のニーズに応えた学習環境づくりを進めています。更によりよい教育施策を探るために点検評価を行います。

〈 評価の流れ 〉

教育委員会内評価	教育長、教育課長、社会教育・文化振興担当課長、社会教育係副主幹、学校教育係長、文化振興係長で事業の評価を行う。
教育委員評価	教育委員に各係の事業の内容・自己評価を説明し意見と評価をいただく。
評価の了承	各教育委員の評価をまとめ、定例教育委員会において、内容の確認を行う。
学識経験者の知見の活用	学識経験者に意見を伺う。
教育委員会議議決	学識経験者の意見の説明と議会への提出や町民への公表に向け、内容の確認を行う。

◇点検・評価対象事業（令和2年度事業）について

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う学校の臨時休業等、これまで経験し得なかった事態への対応を講じる必要がありました。

例年実施してきた取り組みの中には、内容の変更や中止等を判断せざるを得ないものもありましたが、この点検・評価を踏まえ、教育委員会が行う事業の更なる充実を図っていきます。

I 生涯学習の充実

1 生涯学習機会の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた学習機会を提供することができるよう各種学級・講座の充実を図ります。 ・文化活動や健康づくりなど多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供に努めます。 ・学習の成果を活かせるよう、発表の機会の提供に努めます。 	担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>各種学級・講座の充実に向けアンケートを実施し、講座の選定を行い、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、開催可能な学級・講座を実施した。</p> <p>文化活動やスポーツ活動など各種団体のリーダーを中心に自主的な運営が見られてはきているが、未だ行政支援が必要な状態にある。</p>	
学識経験者の意見	<p>○令和2年度は、新型コロナという今までに経験しえなかった事態が生じたが、コロナ禍においても講座関係に向けて対策をとられて開催可能な学級・講座を実施できたのは評価したい。</p> <p>また生涯学習は、自身の人生と生活をより豊かで有意義なものにしていくために学び続けることなので、今後もコロナ禍でも開催可能な様々な講</p>	

	<p>座を広く考えていただきたい。</p> <p>一層のサービス向上を目指し、積極的な運営を期待したい。</p> <p>○コロナ感染症により企画された講座が予定どおり開催できなかったことは残念である。</p> <p>次年度は有意義な講座が開催できることを期待したい。</p>
--	---

2 生涯学習設備の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習拠点施設として、必要な機能を検討し、その結果に沿った生涯学習設備の整備を図ります。 ・地域における社会教育を推進するため、公民館の施設・設備の充実に努めるとともに、運営体制の充実に努めます。 	<p>担当課の評価 (社会教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>町民のニーズに対応し、公民館事業の各種教室を開催している。公民館等の軽微な修繕については、迅速に対応を行っている。今後は、生涯学習社会の進展に伴い、多様化する学習需要に応えるべく、個別施設計画に基づき、機能的な改修を検討していく必要がある。</p>	
学識経験者の意見	<p>○コロナ禍においては施設設備の改修は当然必要になってくる。そのためには財源の確保が大事である。町民が安心安全に利用できる様、努力してほしい。</p> <p>○個別施設計画に基づき整備、改修していくことは評価できる。利用に支障をきたさぬよう進めてほしい。</p>	

3 生涯学習推進体制の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・芝山町生涯学習推進のあり方を検討し、推進体制の整備を図ります。 ・広報による生涯学習情報など、町民に対する幅広い学習情報の提供と相談体制を整備します。 ・生涯学習の推進に向け、各種事業のより効果的な方策の実践を検討し、生涯学習活動を支援するリーダーの育成と人材確保を図ります。 	<p>担当課の評価 (社会教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>町民のニーズを調査したうえで、生涯学習の場の提供等に努めている。各種団体に対し、リーダーを中心に組織運営を実施し、自主的活動ができるよう積極的に指導している。</p> <p>各種学級・講座におけるリーダーの育成・人材の発掘、また確保がどの団体とも必要であり、町内のみならず近隣市町との連携・協力を推進していくことが大切であると考えている。</p>	
学識経験者の意見	<p>○町民がいつでも学習機会を選択して学ぶことが出来る様、相談窓口の充実とともに、生涯学習情報システムで様々な情報提供をお願いしたい。</p> <p>○リーダーや講師の発掘、確保は困難であると思うが、努力してほしい。県内自治体の図書館と連携できていることは評価できる。</p>	

II 家庭教育、青少年の健全育成

1 家庭教育の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における家庭教育学級の実施により、親の学習機会の充実を図ります。 ・情報提供や相談体制の整備を進める他、父親が家庭教育へ参加しやすい環境整備に努めます。 ・親子で体験活動ができる「若竹塾」の充実を図り、 	<p>担当課の評価 (社会教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
--------	--	--

	良好な親子関係づくりの一助とします。	
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>子育てについて、不安や悩みをもつ親が増加しつつあり、家庭教育力の向上を図るためにも、子育てに必要な情報提供を目的とした事業を今後検討する。また、家庭教育学級への参加者をさらに多くするためにも有効な広報活動が必要であると考えている。</p> <p>当該年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、実施に向け、いまの時代に求められている講演内容の情報収集を行った。</p> <p>若竹塾は、例年、アンケートを基に内容を吟味し、親子が参加できる体験活動を年間10回開催している。当該年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、次年度に向けて、コロナ禍でも実施可能な事業についての検討や実施までの流れの把握に努めた。</p>	
学識経験者の意見	<p>○保護者に寄り添いながら「生きる力」を育成する家庭教育はすべての出発点である。すべての親が安心して子育てや家庭教育を行うことが出来る様支援しなければならない。</p> <p>コロナ禍においては家庭内でも様々な問題が生じている。早め早めの対応と情報提供を切に願う。『地域の実情に応じたアウトリーチ型家庭教育支援の取り組み事例について』（令和3年2月）等も参考にしたい。</p> <p>○今年度、若竹塾が開催できなかったことは残念である。次年度に期待したい。</p>	

2 青少年の健全育成

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会や青少年相談員の育成を図り、地域における青少年活動の活発化を促進します。 体験学習やボランティア活動など、青少年の地域参加を図る学習機会の提供に努めるとともに、文化イベントや幅広い交流活動を促進します。 郡ジュニアリーダー研修会や町サマーキャンプへの参加などを通じて、青少年リーダーの養成・確保に努めます。 青少年の健全育成に向けて、育成環境の整備に努めます。 	<p>担当課の評価 (社会教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>様々な体験活動の提供は、子どもたちが地域住民や異世代との交流を深め、コミュニケーション能力や社会性を育むことができる大切な場所となっている。</p> <p>しかし、当該年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、小中学生を対象とした事業を開催することができなかったが、殿塚・姫塚古墳の清掃など、コロナ禍でも実施可能な事業を行い、青少年育成環境の整備を図った。</p> <p>また、積極的に育成者向けの講習会に積極的に参加し、役員としての資質や意識の向上に努めた。</p>	
学識経験者の意見	<p>○青少年を取り巻く環境が大きく変化している現在、青少年の健全育成はとても重要である。</p> <p>更なる拡充が求められるとともに、時代に応じた事業展開をする必要がある。</p> <p>○今年度児童、生徒が参加する行事が開催できなかったのは残念だが、育成者向けの講習会に役員が参加できたのは良かった。</p>	

III 学校教育の充実

1 学校教育の総合的推進

取り組み内容	・自ら学び心豊かで芝山町を愛する児童・生徒の育成をめざします。	担当課の評価 (学校教育係)
--------	---------------------------------	-------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成の工夫や学習指導要領への対応を図るとともに、特別支援教育を推進します。 ・児童生徒の健やかな成長のために関係機関との連携・協力を努めます。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じることで児童生徒が安心して学べる環境を整えます。 	○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>一人一人を大切にしたきめ細かな指導で、自ら学ぶ力を育み、確かな学力を身につけようと努力している。新学習指導要領が全面実施となり、学習の意義を共有し、教材の選定・開発、授業改善を図る中で、①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性の涵養等の力を高めていく必要がある。</p> <p>小・中学校とともに地域の教育力を活かした特色ある教育活動を実践するとともに、地域の伝統や歴史にふれる体験的な活動に取り組んでいる。</p> <p>また、特別な支援を必要とする児童に対応するため、町雇用の介助員を配置している。</p> <p>教育委員会、保育所、幼稚園、保健センター、民生児童委員など、関係機関・団体が学校教育を支援しているが、課題を明らかにして連携していく必要がある。</p> <p>当該年度は、新型コロナウイルス感染症防止に係る臨時休業により、新年度の開始が6月からとなったが、体温検知カメラ等の導入やトイレ清掃の業者委託、児童生徒一人一人へのタブレット端末の配備等により、安心・安全な教育環境の整備に努めた。</p> <p>また、芝山町立小中学校管理規則を改正し、例年、8月31日までの夏季休業日を8月19日までとすることで、必要な授業時数の確保を図った。</p>	
学識経験者の意見	<p>○芝山が学校教育に多大な支援をしてきていることを感謝したい。</p> <p>今後も、地域の教育力の向上、幼小中の連携、教員の資質を高めるために必要かつ、継続した研修に取り組んでもらいたい。学校配備されたクロムブックについても様々な研修をお願いしたい。</p> <p>○コロナ感染症により当初の学習指導計画が大幅に変更になるなか、授業時数を確保された教育関係者のご尽力に敬意を表したい。</p> <p>今後も自然災害等も含め、厳しい状況のなかでも教育環境を整えられるよう準備をお願いしたい。</p>	

2 学力向上のための指導・支援の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究の励行や各種訪問等を通して、教職員の授業（指導）力を高めます。 ・少人数指導やチームティーチングなど、個に応じたきめ細かな指導を推進します。 ・町雇用の学習支援員を配置し、児童生徒の学力向上と教師が児童生徒と向き合う時間の確保を図ります。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>小中学校では、町雇用の学習支援員を活用したきめ細かな指導・支援や特別支援教育が適切に実施されている。</p> <p>また、例年実施している全国学力・学習状況調査及び千葉県標準学力検査、県教育庁東上総教育事務所計画訪問や要請訪問、教育委員会訪問などは、新型コロナウイルス感染症防止策として実施されなかったが、小中学校に対しては、日々のPDCAサイクルの実践等により授業（指導）力を高めるよう指導した。</p>	
学識経験者の意見	<p>○学力向上の実現は学校の最も重要な役割であり、保護者の願いでもある。学力に課題のある児童生徒の学力の向上はもちろんのこと、優れた力を有する児童生徒の力をより高める対応にも取り組んでほしい。</p> <p>ICTを活用した学習など、日々、工夫を凝らした授業実践による、き</p>	

	<p>め細かな指導を行い、その成果として子どもたちの学力向上がなされることを期待したい。</p> <p>また、学校は、家庭学習の習慣化など基本的な学習習慣の定着を進め、町は、地域・家庭の教育力をあげる方策に取り組む必要がある。</p> <p>芝山町は学習支援員の役割が重要で支えていただいている。支援員の人員は出来るだけ増やしていただき、きめ細やかな指導が最大限に出来る様お願いしたい。また、働き方改革を踏まえ、教員が教育に専念できる環境づくりを進めてもらいたい。全国に先駆けて芝山から様々な発信が出来るが良い。</p> <p>○学力向上の成果を確認できる各学力調査が実施できなかったことは残念であるが、引き続き学力の底上げと伸長に取り組んでほしい。</p>
--	---

3 個性や能力を伸ばす教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを活用した外国語教育や国際理解教育を推進し、国際化・グローバル化に対応した教育の充実を図ります。 ・高度情報化社会に対応した情報教育の充実のため、ICT利活用教育を推進します。 ・障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じ、保護者の理解のもと適切な特別支援教育を行います。 ・学校図書館の充実を図り、学校における読書活動の推進に努めます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>町独自に各小中学校にALT1名を配置(委託)し、中学校の英語並びに小学校の外国語・外国語活動すべての授業が教師とALTによるTT(ティームティーチング)より行われ、興味・関心の喚起や学力の向上を図っている。</p> <p>コロナ禍の学校臨時休業時、小中学校では学校ホームページや学習支援ソフト等のICT環境を活用して学習機会の保障に取り組んだ。</p> <p>また、令和2年中にGIGAスクール構想による児童生徒一人一人へのタブレット端末の導入を終え、ICT機器活用の一層の推進に向け、町が委託するICT支援員を活用した教職員研修も実施した。</p> <p>特別支援教育については、外部関係者等による町教育支援委員会を年2回開催し、特別な指導・支援を必要とする児童生徒のスクリーニングと適切な対応について定期的な検討を重ねている。</p> <p>図書購入費(町費)を確実に確保することにより、多くの新刊図書を購入することができた。</p>	
学識経験者の意見	<p>○教員がオンライン授業に慣れ、学習支援ソフトを使った授業がスムーズに行えるよう環境整備に努めてもらいたい。そして、それが学力向上につながる様にしたい。ハード面はそろってもソフト面では財政にも関わらざるべく未来の子どもたちのために支援をお願いしたい。</p> <p>また、働き方改革を踏まえ、教員が教育に専念できる環境づくりも教育委員会をお願いしたい。芝山から改革を発信できるくらいになることを期待したい。</p> <p>○コロナ禍のなかでもGIGAスクール構想など新たな取り組みで指導できたことは良かった。端末の操作に格差がでないよう指導していただきたい。</p>	

4 豊かな心をはぐくむ教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育、道徳教育などにより豊かな心の育成を推進します。 ・積極的な体験活動の取り組みなどにより、キャリア 	<p>担当課の評価 (学校教育係)</p> <p>△課題がある</p>
--------	---	---

	ア教育を推進します。	
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>小学校では、県立東金青少年自然の家での自然体験や地域人材を活用した勤労生産体験（稲刈り）を実施し、豊かな自然の恵みの大切さ、それらに関わる人々の働く姿を目の当たりにすることができた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策として、リモートにより成田空港整備地区で働く人々の姿を見学し、キャリア教育推進の一助となっている。</p> <p>中学校については、新型コロナウイルス感染症対策として、やむなく職場体験学習や奄美大島の自然体験学習、台湾での異文化理解学習の実施を見送ることとなった。</p> <p>また、例年ならば、異学年・異校種交流による小中学校合同の音楽祭や教育委員会主催の芸術鑑賞教室などを実施し、他者を思いやる心、豊かな心の育成を図ってきたが、当該年度は新型コロナウイルス感染症対策として、それら事業の実施を見送っている。</p> <p>そのほか、人権教育・道徳教育の実践については、新型コロナウイルス感染症に関連するいじめ防止の観点から確実な取り組みがなされたものと考えられる。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行という予見し得ない状況下において、十分な取り組みが出来なかったことは否めない。</p>	
学識経験者の意見	<p>○子どもたちは、生命尊重の精神や自尊心の貧しさ、規範意識、人間関係形成力などの低下が指摘されている。これらの諸課題に対応するため、人権教育、道徳教育の確実な取り組みを継続して推し進めてもらいたい。</p> <p>いじめについては、いまだ全国ニュースになる事がある。いじめ防止は最大の取り組みであるので、気を緩めることなく、あらゆる場面で迅速な対応をしていただきたい。</p> <p>○コロナウィルスに感染することにより新たな差別、いじめが、発生しないよう取り組んでいただいているようだが、状況が懸念される。</p> <p>引き続き相手の立場にたつ、相手を思いやる心を持つ指導をお願いしたい。</p>	

5 食育に関する指導の充実

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励し、栄養バランスを考慮した正しい食習慣を身につけます。 ・地元の農水産物を学校給食に取り入れ、「食」を通じた郷土愛を育みます。 ・食物アレルギーの適切な指導・管理をすすめます。 	<p>担当課の評価 (学校教育係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>給食に芝山産コシヒカリ、丸朝園芸農業協同組合から仕入れた地元産のニンジンやスイカ等を使用するほか、年5回程、地産地消（千産千消）の取り組みとして地元農産物を使用し、それに関わる説明文を学校で紹介することで地元農産物に対する意識や知識を高めている。</p> <p>さらに当該年度はコロナ禍における生産者応援事業として、県から無償提供された千葉県産の伊勢エビやタコ、スズキ等を使った給食を実施した。</p> <p>食物アレルギーへの対応としては、年度始めに対象者のスクリーニングと対応内容を確認した。</p> <p>また、アレルギー対応該当家庭に対しては詳細な献立表の配付等を行い、指導・管理の徹底を図った。</p>	
学識経験者の意見	<p>○朝食を食べられない子への対応、食物アレルギーのある児童生徒が多いので、その対応をまわりの大人が周知して、迅速な対応・研修をつんでもらいたい。命にかかわることなのでしっかりお願いしたい。</p> <p>○「持続可能な開発目標」の推進により将来的には食材が制限されることが予想される。情報収集に努め、対応できる準備をお願いしたい。</p>	

6 安全教育の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全を守り育むため、学校・PTA・地域が協力し、地域ぐるみの取り組みを実施します。 ・子どもの安全に関し、意見交換や情報共有を行い、相互理解を深め、よりよい環境づくりに努めます。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	スクールバス、自転車、徒歩と通学形態が様々な状況にあるが、地域ボランティアの協力を得て防犯パトロールを実施している。 通学路の危険箇所等の点検を実施し、危険箇所の解消に努めている。 また、通学路の点検に際しては、県土木事務所、警察、学校管理職、町関係課も参加し、通学路の状況確認と対応策を検討した。	
学識経験者の意見	○児童生徒への安全指導だけでは、交通事故は防げない。他の地域の事故後、通学路の状況確認と対応等を検討していただいたのはありがたい。 そして他の地域で起こったこととせず、自分の町で大事故が起こったという想定も考えておきたい。さらに、学校や地域の実情を踏まえた防災教育(豪雨対策)等も実践することを望む。 ○悲惨な交通事故や自然災害時に通学に不安を持つ、児童生徒・保護者は多数いると思う。 児童・生徒が安全に通学できる環境整備をお願いしたい。	

7 開かれた学校づくり

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や家庭の学校行事への参加、学校評価への参画機会をつくるなど、開かれた学校づくりに努めます。 ・学校施設の開放に努めるとともに、地域と連携した開かれた学校づくりを推進します。 	担当課の評価 (学校教育係) △課題がある
委員会の評価 (課題問題点など)	当該年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、入学関連行事の簡素化、運動会・卒業式等の参加者人数制限等を行わざるを得なかった。 また、例年実施している学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会や家庭教育学級等の開催も見送っている。 そのような中、学校ホームページ・学校だより等による情報発信を継続的に行い、(小学校)6年生を送る会や(中学校)3年生を送る会をビデオ録画視聴・リモート視聴する手立てを講じることは出来た。	
学識経験者の意見	○「町全体が大きな学校」と捉え、子どもから、大人までが共に学び合える町にしていきたい。 保護者や地域住民の意見やニーズを学校運営に反映させ、「地域、学校協働活動」を強化するために進んでいけたらと思う。コロナ禍において難しい面もあるが、閉ざすことなく進めていただきたい。 ○コロナ禍のなか、学校を開放するのは不可能であったと思う。対策をして行うにしても児童生徒の安全を第一に考えて欲しい。	

8 学校施設の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を計画的に推進し、小中学校や給食センターの施設・設備の保全及び修繕に努めます。 ・社会の変化に対応して、ICT機器の環境整備をすすめます。 	担当課の評価 (学校教育係) ○概ね達成している
委員会の評価 (課題問題点など)	芝山小学校は、当該施設の耐久度が高く、当面は新たな町づくり計画の進捗も踏まえ、建て替え時期を検討することとした。 そのほか、小中学校は、ICT機器活用を推進するための学校校務LAN強靱化工事を終えた。	

	<p>また、熱中症対策として、小中学校の保健室に製氷機を設置した。 給食センターは、調理場内のエアカーテン設置工事を終え、給食の安心・安全な提供をすすめている。</p>
学識経験者の意見	<p>○学校施設整備については、町当局の御支援をいただき恵まれた環境にあるのは嬉しいことである。子どもたちに安全な教育環境を提供することは大変重要である。</p> <p>学校施設は避難所としての機能を有していることから、今後も計画的に安全で適切な整備を図ってもらいたい。</p> <p>○ICT機器が有効に活用できる環境が整ったことは評価できる。</p> <p>体育館にエアコンの設置を検討して欲しい。</p>

IV スポーツ・レクリエーションの振興

1 スポーツ・レクリエーション活動の推進

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも町民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図ります。 ・気軽に参加できる仕組みづくりに努めます。 ・体育協会・スポーツ推進委員や各種スポーツ団体・サークルの育成、支援に努めます。 ・スポーツ少年団を支援し、青少年のスポーツ活動の充実に努めます。 ・スポーツ・レクリエーション種目の多様化に対応した指導員確保や人材バンク制度の検討など、スポーツ指導体制の充実に図ります。 ・子どもから高齢者まで参加できる新しいスポーツの普及・振興やスポーツによる交流を図ります。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>若者から高齢者まで、スポーツを通じた健康増進の大切さが求められており、様々な競技団体が活動している。しかし、人口減少、少子高齢化により、競技愛好者が減少しつつあり、どのように競技愛好者を増加させるかが課題となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、当該年度は、ほとんどの団体において各種教室、大会等を開催することができなかったが、ウィズコロナ、アフターコロナに対応したイベントの開催準備やガイドライン等の整備を進めた。</p>	
学識経験者の意見	<p>○中高齢者を対象とする種目について、障害者の参加が容易となるような大会等を企画・実施してほしい。</p> <p>○競技者人口が減少して行く中で活動するには、近隣市町との協力等、工夫が必要だと思う。</p>	

2 スポーツ・レクリエーション施設の整備

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの拠点として総合運動場を位置づけ、町民が利用しやすい施設改修と維持・管理を図ります。 ・身近なところで気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、多目的に利用できるスポーツ広場等の整備や学校施設の活用を図ります。 	<p>担当課の評価 (社会教育係) ○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>「安全」を基本としながら、老朽化している施設を限られた予算の中で計画的に改修を行う事が出来た。</p> <p>今後は個別施設計画を基に大規模改修に向け計画を進める。</p>	

	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、施設貸出の中止や利用時間の制限、利用に関する新たなルールの作成を行った。</p> <p>感染状況を注視し、適切に施設を貸出せるよう調整を続ける。</p>
学識経験者の意見	<p>○子どもの事業は、少子化によって難しくなっていくことが予測される。</p> <p>また、利用者の高齢化も進むことが予測されるので、それらを踏まえた活動を検討することが望ましい。</p> <p>○個別施設計画により順次改修されると考えるが、町民の意向をくみ、優先順位に配慮して欲しい。</p>

V 文化と感性を高めるまちづくり

1 個性ある地域文化の創造

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の指導者、後継者の育成や自主的な文化芸術活動グループの活性化を図ります。 ・町民の文化芸術活動の成果を発表する機会を増やし、交流・研鑽の場の充実に努めます。 ・質の高い文化芸術の鑑賞会の提供や、芸術家との交流を通じた環境づくりを推進します。 ・地域の文化芸術活動の拠点施設として文化センターがもつべき機能を検討し、施設・設備の充実に努めるとともに、運営体制の充実に努めます。 	<p>担当課の評価 (文化振興係)</p> <p>○概ね達成している</p>
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>文化センター自主事業として、新春寄席、小学校芸術鑑賞教室の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむなく中止とした。</p> <p>同様に、住民の文化芸術活動の発表の場となっていた文化協会芸能発表会やクリスマス音楽会についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。</p> <p>文化センターの改修等、現在ある施設の整備、有効活用等に努めることができた。また、吹奏楽コンクールのリハーサル会場として多くの学校の招致に成功していたが、新型コロナウイルスの影響により利用が激減したため、ホールの有効活用及びピアノの状態向上を図り、ピアノの無料開放事業を実施した。</p> <p>コロナ禍においても文化センターが地域の文化芸術活動の拠点施設となるよう、「新型コロナウイルス感染拡大予防のための芝山文化センター利用ガイドライン」の作成や、体温検知カメラや空気清浄機を配置するなど、利用者が施設を利用しやすい環境を整備した。</p>	
学識経験者の意見	<p>○コロナ禍においても利用者が施設を利用しやすい環境整備はありがたい。文化センターの改修等、財源の確保を早い段階からお願いしたい。</p> <p>また、今後も展示内容に工夫を凝らし、施設環境を整えるなど、時代のニーズに応じた運営をお願いしたい。</p> <p>また、文化の国際交流が活発に行われることを期待したい。</p> <p>○コロナ禍により多くの企画が実施できなかったのは残念であった。</p> <p>しかし吹奏楽コンクールのリハーサル会場として利用があったのは良かった。</p>	

2 郷土意識の醸成

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今日まで伝えられてきた祭りや民俗文化、年中行事などの無形の文化資源を見直し、郷土文化の継承と活用を推進します。 ・埴輪と古墳を積極的に活用しながら現代的価値を見だし、個性あるまちづくりと新たな文化 	<p>担当課の評価 (文化振興係)</p> <p>○概ね達成している</p>
--------	--	--

	の創造につながります。	
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>郷土の歴史や伝統を継承することにより、郷土意識の醸成を図ることは非常に重要である。町内各地区の歴史研究と文化財保護・活用を目指して「しばやま郷土史研究会」の活動を支援することができた。</p> <p>また、成田国際空港の機能強化により移転となる地区の記録を残すため、しばやま郷土史研究会にて移転地区の調査を開始した。当該年度は加茂地区の調査を実施し、令和3年度以降も調査を継続していく。</p> <p>芝山町内の歴史・文化財をまとめた書籍「芝山町の歴史と文化財」を発刊し、さらにインターネットを使って町内の文化財を調べられるように、町ホームページの文化財関連記事を充実させた。</p> <p>郷土意識は、短期間に醸成される性質のものでないため、継続して推進し、郷土の歴史や伝統を守り続ける手助けをしていきたい。</p>	
学識経験者の意見	<p>○郷土資料館の設置や出前講座の開設等、積極的な取り組みをお願いしたい。</p> <p>○成田空港の機能強化により、多くの地域で遺跡の発掘が実施される。今後発見が予想される遺物等の保存、研究の準備を検討して欲しい。</p> <p>また、移転対象地区の住宅に残されているであろう、古文書、古民具等の収集、保存、判読、展示もお願いしたい。</p> <p>郷土史研究会による調査の結果をとりまとめ、町民に報告して欲しい。</p>	

3 歴史文化資産の継承

取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開発に伴う埋蔵文化財の調査と保護を図るとともに、指定されている無形民俗文化財の保存・継承に努めます。 ・郷土や埴輪に関する関心と理解を深め、はにわのまちとして文化をテーマとし、古墳・はにわ博物館の活用と積極的な情報発信に努めます。 ・「博物館友の会」「しばやま郷土史研究会」を中心に地域に根ざした歴史文化活動を行っている人材・グループの育成や文化財・歴史ボランティアの養成・確保などを図ります。 	担当課の評価 (文化振興係) △課題がある
委員会の評価 (課題問題点など)	<p>価値観が多様化する人の生活のなかで、文化財や伝統文化は、強い意識を持って保護に努める必要がある。</p> <p>芝山仁王尊観音教寺が所蔵する殿塚・姫塚古墳出土埴輪をはじめとする埴輪122点の寄託を受け、博物館常設展示室のリニューアル準備を行った。また、博物館の情報発信のため令和3年3月からTwitterを開始した。</p> <p>役場前にある「伊東家住宅」を国の登録有形文化財にするべく手続きを行ってきたが、令和2年8月に正式に登録された。</p> <p>今後は、積極的に芝山町の宝である「殿塚」「姫塚」周辺の保護・整備を行うことが急務であると考えます。</p>	
学識経験者の意見	<p>○地域住民が文化財等を身近に親しむ機会を拡充し、町民ひとりひとりが歴史遺産を感じ取れる取り組みをしてほしい。</p> <p>○古文書解説講座等を開催し、郷土史研究会員をはじめとする町民の研究能力の向上を図るべきである。</p> <p>歴史文化の伝承は研究者と地域住民が協力して初めて充実した成果をあげることができる。</p> <p>空港予定地で発掘されるであろう埋蔵文化財を如何に保存するかは難題である。早めに検討を開始し、有意義に継承できるようお願いしたい。</p>	